

白 方 の 風

【学校教育目標】自ら学び考え、心豊かで
健やかに生きる児童の育成

令和7年度
No.11
東海村立白方
小学校
2025.6.13
児童数 450 人

6月に入り気温、湿度ともに高くなって参りました。栄養バランスの良い食事を摂る、睡眠時間を確保するために就寝時刻を守る、といったことを心がけていくことができるよう学校ではお話をして参ります。

水泳学習が間もなく始まるため、朝の検温や健康観察、水着の準備・洗濯など大変お世話になります。どうぞよろしくお願いいたします。水泳学習では、水に慣れること（水に顔をつける、水の中で息を吐く、水に潜ってプールの底のものを拾う）次に水に浮くこと、そして泳ぐことといったように段階的に学習を行って参ります。少しずつですが泳ぐことができるよう学んで参ります。健康状態が優れないと、呼吸不全や心不全、手足がつるといったことが突然起こる場合があります。そのため、保護者の方からの「マチコミ」への「検温」及びプール学習「参加します」の登録がない場合は、水泳学習に参加できませんので、ご理解ご協力をお願いいたします。安全に少しでも長く泳ぐことができる学習を進められるよう、よろしくお願いいたします。

不審者対応避難訓練

～「いか・の・お・す・し」で命を守る。～

5月27日（火）の5校時に不審者対応の避難訓練を実施しました。不審者が4年1組の教室へ入ってきたといった想定で実施しました。担任の先生が、不審者役のひたちなか警察署のスクールサポーターの方を机や椅子でくい止め「逃げます。」との指示に従い、児童はグラウンドへ急いで逃げ出しました。他の先生が児童を誘導すると共に、別の先生がPHSを使って全校放送で「緊急事態4年1組」の放送を流し、それを合図に全校児童が外に避難しました。さらに、別の先生方が刺股をもって直ぐに4年1組に集まり、不審者役の方を前後から刺股で威嚇しながら動きを封じました。外へ全児童が避難したことを確認して訓練を終えました。その後、体育館でスクールサポーターの方から不審者の被害に遭わないための方法などについてお話を聞かせていただきました。不審者は性別に関係がなくいること、捕まりそうになったら、20m全力で走ると追いかけてこない場合が多いことなどを教えていただきました。「イカ（ついてい）かない）の（の）らない）お（大（おお

声で助けてとさけぶ）す（すぐ逃げる）し〔（大人に）しらせる。〕」のキーワードで示された行動は、不審者に遭遇した際にとるとよい行動であることを教えていただきました。



体力テスト

～投げる、走る、跳ぶ、曲げる、握るといった運動に挑戦しています。～

5月最後の週から、自分の体力について関心をもち、進んで運動しようとする態度を育てるために体力テストを実施しています。茨城県では全ての公立の小・中学校で実施しています。

外の種目として、50m走・ソフトボール投げ、室内では、上体起こし・反復横跳び・20mシャトルラン・立ち幅跳び・長座体前屈、握力などの測定を行っています。多様な種目の力を一朝一夕で身に付けることは難しいです。それぞれの運動に挑戦するときに、足と手や腕の動かし方、動かすときに気を付けることなどをみんな考えながら、記録の挑戦に取り組んでいます。

また年間を通して体育の授業の際に、運動場を回って、タイヤ（ジャンプ・股関節伸ばし）→ 登り棒（握る、引き上げる）→ 低鉄棒（握る、回る、つり下がる、体を腕で引き寄せる）→ 立ち幅跳び（曲げる、蹴る）→ 山登り（曲げる、蹴る）→ ジャングルジム（握る、引き上げる、つり下がる）→ うんてい（握る、つり下がる、引き寄せる）→ 50m走（走る、蹴る、振る）→ 2人組で柔軟運動（曲げる、伸ばす）といった運動を行う「サーキットトレーニング」と呼ばれる運動を奨励しています。

